

の現場を詳細檢證せしめたり。

斯くして十五日には大久保吉平(二八)山根甚藏(三七)喜多儀一(二八)下島喜代一(二九)外二名の者騷擾罪又は煽動罪として十五日檢事局へ送られ更に十六日朝には、山下良松(三四)龜川喜右衛門(四一)西村虎喜(三〇)佐中友次(一八)山下儀一(一七)岩田市太郎(二〇)外三名も騷擾罪として告發されたり。

尙十六日は相生橋署も川崎造船所硬派職工中軟派職工に脅迫行爲を爲せる者の檢舉を始め、九日職工伍長心得辻盛藏(二九)を毆打負傷せしめたる鬼丸猛彦(三四)を拘引檢事局に送り又十四日警成線を突破せんとせし誠首職工の電氣工尾川林藏(二五)中野二郎(二二)及び旋盤工石崎虎一(一九)の三名も引致取調べられたり。又湊川警察署に於ては十六日正午過突然友愛會の柴田主事を拉し檢束を加へ電正會の青柳善一郎氏(在郷軍人)が須磨の自宅より軍服を着用して出で來りし所を須磨署高等刑事は檢束したり。此外同日の檢束者は各署を通じて百餘名に達す。

斯くの如き有様にて檢舉の手は一向に緩まず以後連日司法當局、警察當局は八方に活動し友愛會神戸聯合會本部、第二互助俱樂部、美術俱樂部、其他の家宅捜査を行ひ重要書類の押収を爲す一方職工側の首謀と目すべき人物の檢舉を遺憾なきまでに辛辣に行ふ所ありたり。

因に電正會の首領にして本爭議に於ける重要人物青柳善一郎氏は十八日檢事局に送られ武松檢事の取調べを受けたる結果、同夜治安警察法違反として起訴され翌十九日午前十一時頃一應區裁判所前川判事の訊問を受けし後、令狀執行正午橋分監へ收監せられたり、

斯くの如く最初絶對不干涉主義を表明し公平なる取締を行ひ居たる宮憲側が俄然態度を一變して徹底的干涉を開始せるに至れるは甚だ興味ある問題たるを失はず。元來兵庫縣知事には歴代良二千石として名を博せる人多く、前任清野知事も現任有吉知事も共に進歩的思想を有する點に於て官僚間に於て白眉とせられたり。清野元知事が賀川氏等に深く信頼して友愛會に對して多大の好意を寄せ居たる事は既述の如くなるが(第二報第四節參照)有吉知事も新思想家たる事に於ては清野知事に劣らず、近代文明の産物たる社會問題、労働運動等に關しても相當の理解あり、特に賀川氏等の事業に對しては常に好感を抱き居たりと傳へらる。之が爲め這般の労働紛議勃發に際しても大阪に於ける藤永田事件の前例に鑑みる所もあり敢て干涉がましき取締を行はむとせず特に不穩の言動にしてなき以上自由に労働者側をして其の思ふ所を行はしめむとせるもの、如かりき。然るに斯く急激に態度方針を一變せるに至れるは其間何等かの理由存在するものならずんばあるべからず。之に關し消息に通せる或る一部の労働運動家は左の如く觀測しつつあるが如し。

初の有吉知事は其の平生抱懐する進歩的思想より形勢悪化を憂へし内務當局が憲兵派遣問題に就き其の必要の有無を照會し來る事頻なるものありしにも拘らず、其の事の結果が却つて労働者側に悪影